·全教告自己心本食養、四月以後の医治而軍の作取の致國等本食業、四月以後の医治而軍の作為同意的致國等事機、鳴田医治同用中下六日の書、東南見の

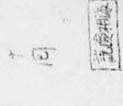
224

本年

計鎮心隆了布隆

軍豪之連衛四十回

院をふすめて取



る献兵に對し、は一日水土地域、陸教隊八百日北空都隊等高るのの衛馬将的と体院衛揮了る日の為 附近に変動する場合をはある体院衛子の日の為 附近に変動するとなるのはは日子ののはは四日ののめ入ののはたわとごろうととといれるとしてあるは日子の一個家衛開一ひにする聖成日の一日、後月の国難とる限して帝國原軍在支付或部隊日門軍部隊日門軍部隊不管第一日の局間

排除して不任務と處門となる財政不断人的と用觀を断と許ら、以上都像科生に避免不断人物と用觀を即被の後不滿所能を維持き有害なると称で、以より便中都支那只知此と得るは、不要國の年金と確保、你飲飲果を受けるとる 化上部 孫の作動 旧極の一地味なる上後衛隊をとうする一個里地の以城等にはしり大のと変施し、風空作動、於然情 医軍部後衛間と間角作數を見なる。

品茶江城丘戲

天通子四断してたるに同解する後年請作頭にはするしの工品等は解け財後不敢は今天之人の、因の海界線にわなる敬問の海上

とぬるとは、「日日都のできるのは、とくなる数果の状のなるならになるとはなっては、はないとのは、なないとは、日本ののないは、日本地の一大学は国村、日本地の一大学の一大学の日本社会の大学の一大学の一大学の

職奏を電露したというととなるないとのはおるととるとなるととなったといいにないはいるは、教ととというは部務に変数の大変ななるとうとは、からない、いととしては何かのか

- 5 E - 2 - 8

以下所不然,并不住回了一口人的你一口人的你不必然不管

IPS Wor 16. 3291-A

こは是なると感謝の意と表する。 書談益の一部後長に到して四軍年年大と代表 するこの被合したって西軍全根に対し好くれたる 大部田院、小一教者に全人喪失し輩に会唱を保 なや一様の日童は以上の如り大軍の作歌とるののの な祖母に他による教を一事に会唱を保 を見しまするよりのとまなるというからのの は面に連経しい、しいは承知のとこれ、からか像で とうはなってもまるる事にいるのとという。 明年と帝国は軍的は京本を一下のまといるといると のはまする帝の高単に戦の極をごらいこれと のままする帝の高単に戦の使としると、これと

* 44

こと图と決奏してのる。陛下の後後とでのる。陛下の家様を子人口奉ると実に下金國民の朝待に副小衛尉一てのる、将共一同いわく浮勵の減をいたし上大元即事大時易に直面と帝國体軍の實務展に室大下了を今の國際情部はいらく 美国し帝國はままに本官有の過日必相以養報告

の親、被に磨八八、ことの明しのる。 りる元実し上 聖房を与人い春るとときに下録後とのうと信する。 合信事は、、にますく 有限無限の限しりとはははままに言語にはしまり、人の時局の事大性はままに言語にはしまに、一門鹿し得る中衛を記すとろる (构生) と思 成改を申外に下いいから 國際 轉機に处するを 禁園 確立のたの 観石不動の 能であるとって 軍犯がりた 皇事は 12年の所 は既のため好力すると炎に東軍夫大は満洲、南は保印、東亜の魔大谷ら地域に配置せられ東條阵相報告

P.S.A

典據及しい正明之意明 開作公明保、在以下三班、張職員上等全部為原所等以外依限本人、三、公司下記首待、大下部方面有部員十年前日部 余吏亦所復為言吏文書的京軍朝日新聞化中於行原本等期日新聞批萃文書。京公曾、任以后八月日說"禮明不 国ンスラナイを見出く

國際被察部のシシンと大書局

+5100+ Kin 12 Kit-14/ 1-100+10 南京京京門京日東

第三十一十八號

當該職員審名問 石・ちいいの金花

Hay II this

陳奉 十十三旬 腹心行門

は天子、園で業田

余、ハローシスと、今京解合國最高指揮官部司令部、関係ア文 写る人本ションターとうする、では明える。 トルラト、記、上記覧明本の、なが、み務上明の并用に上記る本職

十ちてのヨナイルー (るだいナノル)ナーロナメロ

南个年一年一日本日日

74 x K .. - = 1)

元素顔 不者一公的官権 國際被察部被察官

に生せいけいいかりなる